

“経営に知恵と革新”

令和8年1月1日発行（隔月発行）Vol.786号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2026年1月・2月号



高ボッチ高原から望む富士山と諏訪湖
(長野県)

認定経営革新等支援機関



一般社団法人日本経営士会

謹 賀 新 年

新しい年を迎え
会員皆様の益々のご健勝
ご活躍を心より祈念申し上げます

令和八年 正月
一般社団法人 日本経営士会
会長 鈴木 和男



副 会 長	専 務 理 事	業 務 執 行 理 事	業 務 執 行 理 事	ブ ロ ッ ク 理 事	ブ ロ ッ ク 理 事	ブ ロ ッ ク 理 事	監 事	監 事
岩井美喜夫	近藤安弘	高橋直也	石原群司	石黒 基	大蔵充夫	小原啓子	春原和夫	竹内一登

北海道支部長	東北支部長	北関東支部長	千葉支部長	埼玉支部長	東京支部長	南関東支部長	中部支部長	近畿支部長	中国支部長	四国支部長	九州支部長	台湾特別支部長
須川清一	山下健二	栗山一宏	関口 恒	江上範博	戸田裕之	伏見 靖	江口敬一	國廣好行	小原啓子	妹尾浩二	西尾廣幸	蔡 有義

INDEX

会長年頭所感	2
新入会員紹介	3
委員会・事業部委員一覧表	6
事業部・委員会等活動	
CSR環境事業部　フォローアップ研修を開催しました	7
環境経営士養成講座のご案内	8
M&A事業部　スモールM&Aビジネスを構築する(13)	9
MPP委員会　活動報告のご案内	10
AMCJクロッシング　活動報告	11
SMC　SX・GXグループ　SDGs活動報告	12
ESG経営グループ　活動報告　～経営デザインシート～	15
一木会研究会　2025年度の活動報告	17
支部活動報告	
北海道支部　「札幌講演会2025」報告	18
東北支部　活動報告	19
北関東支部　新潟県会　外部研修報告	23
第49回公開MPP	24
北関東支部　茨城県会　セミナー開催報告	25
千葉支部　活動報告	26
埼玉支部　報告書10・11月	27
東京支部　MPP実施報告	28
南関東支部　活動報告	29
中部支部　活動報告	31
近畿支部　第4回オンライン交流会	36
ビジネスチャンス発掘フェア2025	38
中国支部　新体制に向かって少しずつ準備!!	39
インフォメーション	41

マネジメントコンサルタント (Management Consultant)

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel：03-3239-0691 Fax：03-3239-1831

<https://nihonkeieishikai.com>

表紙：高ボッチ高原から望む富士山と諏訪湖(長野県)

会長年頭所感



代表理事(会長) 鈴木 和 男

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、お客様そして会員の皆さま、そして本会をご支援いただいています多くのステークホルダーの皆さまには、格別なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

年頭に当たり、私たちを取り巻く社会・経済・環境の課題と今後の進むべき道について考察したいと思います。

＜社会経済面＞では、いまだに終息されないロシア・ウクライナ、そしてイスラエル・レバノンなど地域紛争。そして第2次トランプ政権の関税政策、特に金利政策の大幅な変更による金融・商取引市場の混乱。そして円安・・・と不安定要素が拡大しています。また＜技術面＞では、何と言っても生成AIの活用拡大でしょう。会員の皆さまも日々の活動の中でChatGPTなどの生成AIを活用されているかと思います。＜環境面＞では、まさに気候危機、地球沸騰化と言われる異常気象・最高気温の連続などがあります。2024、2025年と異常な高温と、線状降水帯の発生などが続いています。2025年の夏の気温は、平年より2.36℃も高かったそうです。

また、我々個人やお客様の＜価値観＞も変化してきており、“人的資本経営”と言われるように、人財の多様性、包摂性が重要視され、そして、個々人に関しても“身体的・精神的・社会的に良い状態”にあり、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義等の将来にわたる持続的な幸福を含む概念“ウェルビーイング”そして“ウェルビーイング経営”が注目され始めています。

以上のように、社会経済を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。これらの動向に目を向け、変化を把握・分析し、経営戦略を立て対応するということがお客様企業をはじめ社会全体を持続・発展させるために欠かせません。

お客様企業のみならず、私たち経営士・経営士会自身も、“スマート”で、“レジリエント”な体質を持ち、“サステイナブル”で“ウェルビーイング”であるように日々努力致しましょう。

本年も、皆さまにとって希望に満ち、健康で充実した一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年1月1日

新入会員紹介

氏 名：渡辺 勝也（わたなべ かつや） 経営士・会員番号：5837

所属支部：北関東支部

所属／役職：なべちゃんFactory代表

専門分野：「生産改善」、「デジタル改善（バックオフィス、生産管理）」

【経歴や実績】

年商60億の酒造会社で生産管理に従事。

在庫削減・リードタイム短縮・残業削減など、現場の改善と数字の成果を結びつける改善活動を推進。

- ・ 在庫削減プロジェクトを主導し、3億円・25%削減（半年）
- ・ 季節商品のリードタイムを 75日 → 2日（97%短縮）、売上 50%増
- ・ 残業 85%削減
- ・ BtoB物販事業の立上げを支援、事務作業 85%削減（ノウハウを外販）

現在は、中小製造業向けにkintone導入と業務デジタル化支援を実施。

販売・生産・労務データを一元化し、在庫・品質・生産性をリアルタイムに可視化。

さらに決算と連動させることで、数字に基づく経営判断ができる仕組みづくりを支援している。

【入会理由や期待】

地元・新潟に戻り、中小企業の仕組みづくりとデジタル活用による経営改善に取り組みたいと考えています。

- ・ Excel依存からの脱却・属人業務の可視化
- ・ 事務業務プロセス効率化
- ・ 品質履歴の追跡、現場へのフィードバック体制構築
- ・ 収益構造の見える化（損益予測、収益試算）

【個人的な趣味や特技】

趣味は、読書（年60冊程度）ビジネス書・組織マネジメントなどを愛読

【メッセージ】

現場に入り、手を動かしながら仕組みをつくる支援を行っています。

「仕組み化」「見える化」「デジタル化」が必要な案件があれば、ぜひお声がけください。

経営士会の皆さまと、知恵や案件をシェアしながら共に成果を出すパートナーになれば幸いです。



氏名：高橋 資久（たかはし もとひさ）経営士・会員番号：5838

所属支部：南関東支部

所属会社：スクラム行政書士事務所

専門分野：行政書士 中小企業支援（補助金申請、許認可申請等）

【経歴や実績】

武蔵大学卒業後、株式会社IHIに入社し、国内営業、海外営業を経て国内および海外の関係会社の役員を経験いたしました。現在は、関係会社にて営業統括を担う傍ら、副業として行政書士事務所を開業しております。

【入会理由や期待】

- ・経営士の資格を行政書士資格と組み合わせることで、より幅広い視点から中小企業支援を実践できると考えたためです。
- ・本会を通して、多くの企業との出会い、また新たな機会創出の場となることを期待しています。
- ・専門能力を向上させるための学習機会を活用し、自己のレベルアップを目指したいと考えております。

【個人的な趣味や特技】

マウンテンバイク、ラグビー観戦

【メッセージ】

2025年9月に入会し、経営士としてどのような活動ができるのか、日々学んでいるところです。諸先輩方の皆様との交流の機会を楽しみにしております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

氏名：藤井 明子（ふじい あきこ）経営士・会員番号：5822

所属支部：中国支部

所属／役職：合同会社AKIAGRI／代表社員

株式会社KCL／取締役

専門分野／得意分野：農業政策全般（特に米政策）、公務員キャリア、公共政策、法制執務、Jクレジット、ビジネスモデル、イノベーション、組織論

【経歴や実績】

○経歴

- ・岡山大学法学部卒業後、岡山市役所入庁。27年に渡り地方会計、環境施設、条例規則改廃、議案策定、地方公共団体調停、障がい者福祉、教育委員会（高等学校事務）、農林水産業業務を担当。特に農林水産業業務においては、米政策（地方再生協議会事務）、畜産事務（畜産クラスター協議会事務、強い農業・担い手づくり総合支援事業交付金担当）、果樹・野菜の産地形成における各種補助金業務、鳥インフルエンザ等の防疫業務、国会計検査対応（経営所得安定対策・水田活用の直接支払交付金、畜産クラスター事業補助金で2度担当）を手掛ける。
- ・2020年3月、岡山市役所を早期退職。同年4月、行政書士登録。



- ・2020年11月～2021年3月 よろず支援拠点岡山 コーディネーター（農業専門）
- ・2021年3月に合同会社AKIAGRI設立、代表社員となる。
- ・2023年12月、株式会社KCLを設立、取締役となる。

○登録機関／活動

- ・岡山県農業経営・就農支援センター 専門家
- ・農業系公務員コミュニティ「農家のお役に立ちたい人会議」 監事
- ・地方公務員オンラインサロンHolg 会員（毎月5日「農業記事」執筆担当）

○実績

- ・2023年 ビジネスイノベーションアワード 優秀賞受賞
- ・2025年 第56回経営士全国研究会議研究論文 最優秀賞受賞

【入会理由】

- ・公務員退職後、農業コンサルタントを行う上で各種専門家との繋がりが大切と感じていたところ経営士会への入会のお誘いがあった。とりあえず賛助会員として登録し、活発な活動を知って、正会員となる。農業以外の知識や経営理論を皆様と情報交換をしながら学んでいきたい。

【個人的な趣味】

- ・旅行（乗り物好き。「乗り鉄」です！）
- ・読書（愛読書は「竜馬がゆく」、野中郁次郎先生と入山章栄先生の経営理論本も好きです）
- ・美術館、博物館めぐり。

【メッセージ】

公務員歴が長く、民間感覚が抜けているところがありご迷惑をおかけすることがあるかと思います。農業全般に関しては、「アキちゃん教えて～」とお気軽にお聞きくださればと思います。農業分野以外は知識不足のところがあり、皆様にご助言・ご指導いただきたいと思っています。楽観主義者で根が明るく常に知識を得る機会を虎視眈々と狙っているので、楽しい話、知識欲を掻き立てる話には飛びつきます。どうぞよろしくお願いします。



お 知 ら せ

本年、1月中旬より役員候補選挙が始まります。選挙資格者は正会員（経営士）のみになります。正会員には今回本誌と一緒に選挙関係書類を同封しておりますのでご確認願います。

（選挙管理委員会）

委員会・事業部委員一覧表

(2025.12.15現在)

委員・事業部名	担当理事	委員長	委 員
資格審査委員会 (経営士)	——	島影教子	小林伸矢(副委員長)、日比慶一、小宮幸久、上田和美、花井秀年、文 美子
資格審査委員会 (環境経営士)	近藤安弘 (代 岩井美喜夫)	——	二宮治己(副委員長)、幡谷貞賢、阿川光祐
倫理委員会	岩井美喜夫	矢島隆志	有馬弘純、小林伸矢、西村 豊、藤井利侑、石田太郎、土橋留美子
情報戦略委員会	石原群司	小林伸矢	楠本隆志(副委員長)、大場優光、高橋直也、土橋留美子、本田哲行、中里皓一、石田 剛、妹尾浩二、西尾英幸、福井 浩、一色俊慶、阿川光祐、鈴木啓之、有馬弘純、刀根拓也、福富健仁、伏見 靖、横田英滋
企画委員会	——	日比慶一	近藤安弘、江上範博、金廣利三、廣瀬典仁、河本仁美、小林伸矢
法人事業部	近藤安弘	福島光伸	江上範博、岡田光史、河本仁美、金廣利三、小林伸矢、飛田 晋、村松宏計、廣瀬典仁、岩井美喜夫、栗林 毅、神保太樹、松本仁利、岡野貴史、神山裕介、栗山尚浩、河田秀浩
人材育成事業部	——	江上範博	近藤安弘、福島光伸、児玉充晴、河本仁美、岡田光史、金廣利三、二宮治己、春原和夫、若川 満
経営支援事業部	高橋直也	横田英滋	善木 誠(副委員長)、板平憲洋、中川哲也、日比慶一、戸根拓也、鷺尾善一、山本員輝、佐藤昌紀、須川清一
M&A事業部	高橋直也	横田英滋	阿川光祐(副委員長)、犬塚大輔、木俣悟志、小泉利明、坂本和美、佐藤 修、須川清一、日比慶一、宮原伸郎、村松宏計、中川哲也、戸根拓也、串田敏美、大内雅功、小林伸矢、善木 誠
MPP委員会	岩井美喜夫	栗山一宏	日野隆生(副委員長)、佐藤広文、山本英夫、(顧問 塚本裕宥)
NJK女性経営士の会	小原啓子	山本カオル	石井サト子(副委員長)、土橋留美子、松永桂子、東ヶ崎鈴子、外岡圭子、松下暢子、上田和美
産能大寄付講座	大蔵充夫	佐藤富夫	大場優光
AMCJクロッシング	近藤安弘 (代 石原群司)	戸田裕之	江藤昭人、樋口弘之、堺 剛、石原群司、西尾英幸、中里皓一、齊藤 潤、小林伸矢、土橋留美子、松下暢子、松田敏弘、相原勇士、仁田協智、福地康弘
CSR環境事業部	近藤安弘 (代 岩井美喜夫)	福井 浩	二宮治己(副委員長)、幡谷貞賢、阿川光祐
外部連携事業部	岩井美喜夫	大宮政男	佐藤富夫(副委員長)、石井眞也、稲葉直彦、江藤昭人
SDGs事業部	大蔵充夫	本田哲行	福井 浩(副委員長)
制度改革プロジェクト	近藤安弘	矢島隆志	岩井美喜夫、石原群司、石田太郎、小林伸矢
選挙管理委員会	——	小林伸矢	末澤宏明、鈴木 健、彌永巧児

事業部・委員会等活動

環境事業部2025年度フォローアップ研修を開催しました

CSR環境事業部

CSR環境事業部 幡谷 展聖

12月12日金曜日、環境事業部は2025年度フォローアップ研修を開催しました。

会場はかわさきエコ暮らし未来館(以下、未来館)と隣接する浮島太陽光発電所(以下、太陽光発電所)です。

ポイントは焼却を減らす取り組みです。CO2削減としても有効な取り組みです。官民が協力して3Rすなわち【①リデュース(Reduce)：発生・排出抑制…ごみを出さないようにして、ごみを減らすこと。②リユース(Reuse)：再利用…使えるものは、繰り返し使うこと。③リサイクル(Recycle)：再生利用…ごみを資源化して、再び利用すること。】を進めることの重要性を感じました。

分別されて出されるゴミについても最終的には人間の目と手でなされていることと取り除かれた異物例の陳列を見ると行政の掛け声は市民生活の隅々には届いていないと感じました。他県の民間産廃工場と同じような景色を見たことを思い出しました。

ある小さな自治体では収集したごみを市民ボランティアが同じことをしていわゆるごみゼロを実現していると聞きました。小さいからこそできることかもしれないがどう拡大していけば同じことを起こすことができるか知恵の出どころだと思いました。

昨今メガソーラーの開発の是非が問われています。そういったこととは無縁の太陽光発電所は川崎市(焼却灰などで埋め立てた土地提供・発電)と東京電力(建設・保守)の共同事業の太陽光発電所です。興味深い土地の利用法です。将来進出企業に事業用地として売却することになっていることです。埋立地なのでいきなりビルや工場など重いものは乗せられないため10年単位の長期

で土地の状況を調査しています。この間も電力を近隣に立地する企業に販売しキャッシュを生み出しています。

環境×自治体×企業の取り組み支援など今後の環境経営士参加者皆様の活動のヒントになるなら幸いです。

環境経営士フォローアップセミナー実施年表(主に現場研修)

年号	本部開催分のみ掲載 中部、九州支部開催は除く
2009	ビジネスエコリーダー(東京商工会議所と当会が環境経営の講座で3年間連携した時期がありました)としてのフォローアップ研修
2011	ビジネスエコリーダーを終え「環境経営士」としてスタート
2012	有明興業 廃棄物処理(東京都)
2013	サントリー武蔵野工場(東京都府中市)
2014	グランパ横浜工場(船物工場)
2015	Jパワー磯子火力発電所 100万KWの能力(横浜市磯子区)
2016	東京都下水道局有明再生センター(汚水処理場)
2017	味の素食品株式会社(川崎工場)
2019	株式会社日本フードエコロジーセンター(神奈川県相模原市 地方創生SDG 関連で総理大臣賞受賞企業)
2021	国立研究開発法人国立環境研究所 江守正多氏講演Zoomにて
2022	株式会社リコー 環境事業開発センター(静岡県御殿場市) 2回実施
2022	「カーボンニュートラルと日本の政策について」《脱炭素に向けた新政策を先駆けて発表、2013年基準2030年46%削減、2050年カーボンニュートラル》経済産業省統括係長 仲野健太氏
2023	新江東清掃工場(東京都江東区 世界最大級、最先端の処理能力)
2924	地方創生とDXの推進 牧島かれん衆議院議員
2024	(株)熊谷組 中大規模木造建築 環境配慮型建築(東京都渋谷区、(株)大伸社コミュニケーションデザインにて研修と現場見学)
2025	川崎エコ暮らし未来館(川崎市が運営、東京湾アクアラインの入口)
	座学研修については当初 東京革業会館にてコンパクトエコシステムの認証企業(13社位、今はなし)のフォローと広報について等、一部省略



環境経営士の皆さま

ご参加ありがとうございました。

未来への投資

環境経営士®養成講座のご案内

企業に環境・CSR・SDGs活動の助言・支援の役割を持つ日本経営士会の「環境経営士」の資格付与を目的とした養成講座を下記の通り開催いたします。 **推薦：株式会社オルタナ**

■ 養成講座開催

◆ ベーシックコース

- ・ 開催日時: 原則奇数月の第2土曜日
10:00～17:30
- ・ 受講料: 1万5千円

◆ アドバンスコース

- ・ 開催日時: 原則奇数月の第3土曜日、翌日の日曜日2日間
10:00～17:30
- ・ 受講料: 3万円 BC同時受講者は4万2千円

eco検定、サステナ経営検定（CSR検定）合格者など環境関連資格者はベーシックコースは免除
ベーシックコース（BC）受講後アドバンスコース（AC）が受講可能です。

（※定員は約10名 位先着順）

BC、ACそれぞれの受講者には修了証が授与されます。所定の手続後「環境経営士」の資格が日本経営士会より授与されます。その後環境・SDGsコンサルタントとしての活動が期待されます。

■ 講座方法

Zoomにて（全国から応募可能） ☎ 03-3239-0691
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A 二番町ビル5F

■ 詳細は下記のホームページをご参照！

「環境経営士」で検索をお願いします。又は下記で
https://www.env.go.jp/policy/post_112.html

「環境経営士養成講座」は環境省等5省の「環境人材育成認定講座」に指定されています。
https://www.env.go.jp/policy/post_112.html

「環境経営士」は公益社団法人全日本能率連盟の認証資格です。
<https://www.zen-noh-ren.or.jp/certification/register-2/>

■ お申込み方法

① 下記申込欄に記入しFAX03-3239-1831

② 又は「環境経営士」で検索<https://www.compact-eco.com>

【振込先】三井住友銀行 麹町支店 普通預金 No.7166277 (一社)日本経営士会

受講申込書【FAX: 03-3239-1831】 申込日: 20 年 月 日

■ 姓 名: (フリガナ)	メールアドレス: ☎: 携帯:
■ 住 所: 〒	
■ 勤 務 先:	■ 業務内容:
■ 保有資格: 環境関連資格保持者をご記入下さい。	■ 受講希望回とコース 第 回 (回数を記入下さい) <input type="checkbox"/> ベーシック <input type="checkbox"/> アドバンス <input checked="" type="checkbox"/> 下さい。

※ご記入頂いた個人情報「一般社団法人」に関する情報のみ使用します。

スモールM&Aビジネスを構築する(13) ～「スモールM&A」と「経営者保証の解除」について①～

M&A事業部

M&A事業部長 横田 英滋

「経営者保証解除」

—このテーマは近時、ますます重要なものとなっており、ご自身の、そして顧客に対する経営士としての経営指導面においても看過出来ない問題となっています。

このコーナーで過去に採り上げたルシアン社を始めとする所謂「吸血型M&A」案件でも、この経営者保証解除が売り主を勧誘する際の彼らの謳い文句でした。

(そして、彼らは、実際には何もしてませんでした)

大企業同士のM&Aでは経営者による個人保証自体が殆どなく、この問題が発生することは稀でした。しかし、今やスモールM&Aが増高しており、中小企業の殆どの経営者が金融機関に対し、個人保証をしている実態があり、本件は、ある意味で「スモールM&A」固有の問題とも言えます。

金融機関とすれば、中小企業の大半は収益力が弱く、企業資産が乏しい為、万一に備えて、経営者のCF(キャッシュ・フロー：役員報酬の他、配当収入、不動産収入等当該企業以外に収益源がある方も少なくありません)や保有資産(家屋敷、株式 etc)をアテにしているのは事実です。

が、収入も資産もない経営者と雖も、金融機関は保証人として徴求しようとしています。

これは平等性・公平性の観点…ではなく、「経営責任」をしっかり自覚して企業運営にあたってくださいね、と言う金融機関としての「思い」が込められたものと理解ください。

M&Aのケースで考えてみましょう。

売り主の経営者にすれば、当該企業を手放す訳ですから「その後の責任までは負えませんよ」となりますよね。が、新経営者が保証に応じてくれるかどうかは微妙ですし、そもそも、金融機関が、変更に応じるかどうかは定かではありません。例えば、資産力ある現経営者と無資産の新経営の場合、金融機関の本音は「前者を保証人として維持したい」となります。

(注：金融機関は新旧経営者双方の保証を徴求することは現在、自粛しています)

重要なことは、当事者同士でいくら合意しても、保証契約はあくまで金融機関と経営者(保証人)との契約であり、第三者との合意に拘束されることはありません。また、M&Aが成立するまでは、新経営者は「他人」であり、金融機関は守秘義務遵守の観点から、現在の経営者及び当該企業に関する情報・所見等は事前に開示することはありません。

この問題について、当事業部では「相当程度、話が煮詰まった段階において、予め各関係者相互に『守秘義務』の解除合意をした上で、金融機関も参加の上、今後の保証人問題等を話し合う場を設ける」ことをFAとしての原則的対応としています。

(次号に続く)

MPP委員会活動報告とご案内

MPP委員会

ご挨拶

明けましておめでとうございます。本年もMPPの推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、MPP委員会では、コロナ禍でMPPの開催が難しい状況を踏まえ、救済措置としてオンラインによるMPPリーダー更新研修を開催してきました。昨年11月に初の試みとしてMPPリーダー養成研修をオンラインで開催、本年2月に予定しておりますMPPリーダー更新研修に加え養成研修も実施することにいたしました。この機会に是非受講いただきますようお願い申し上げます。

MPP委員長 栗山 一宏

活動報告

2025年11月9日(日)と16日(日)の両日(9:00～17:00)でMPPリーダー養成研修を実施。北海道支部1名、千葉支部1名、南関東支部静岡支援センター1名の計3名とMPP委員会3名で無事に終了できました。初の試みで課題も残りましたが、引き続き実施して参ります

活動案内

○MPPリーダー養成研修(オンライン)

2月8日(日) 9:00～17:00、2月15日(日) 9:00～17:00

費用 20,000円

○MPPリーダー更新研修(オンライン)

2月15日(日) 9:00～17:00

費用 10,000円

申込方法 メールで本部田中さん(tanaka@nihonkeieishikai.com)宛、件名に養成又は更新研修
申込本文に 氏名、所属支部名、当日連絡の取れる連絡先

●MPP開催予定

開催月日	支部等	会場等	時間	連絡先メールアドレス
1月17日	北関東支部 新潟県会	新潟市 クロスバルにいがた	13:30～17:00	kurimaruwonder@outlook.jp
1月17日	四国支部	高松市	—	—
1月24日	東北支部	仙台市	—	h-sato@satokaikei-sendai.com
2月21日	北関東支部 茨城県会	ひたちなか市 ひたちなか商工会議所	13:30～	ouchimax311@gmail.com
3月20日	近畿支部	大阪市	AM/PM	successmoon33@gmail.com

AMCJクロッシング活動報告

AMCJクロッシング

クロッシング(交流会)を開始して7年目を迎えます！会員みなさまに楽しんでいただけるよう、さまざまなコンテンツをお届けします。今後とも引き続き宜しくお願いします。

昨年10月にWEB開催をしましたクロッシングは、第19回目にあたります。今回も、「一人でも多くの方と交流できる」を中心として開催いたしました。

これからも、全国会員の皆さまが気軽に「ワイガヤ」ができて、お互いを知っていただける「フラットな場」になるように、運営を行ってまいります。

AMCJクロッシング委員長 戸田 裕之

◆『第19回 AMCJクロッシング』、10月5日(日)、10:00~12:00、参加者22名

テーマ:「変革と変化」 ファシリテーター:石原 群司 会員(東京)

ご意見ご感想(アンケートの返信は「大変良かった」がほとんどでした)

- ・ 普段接点のない皆様から、色々なご知見をいただくことができました。
- ・ チームのみなさんが多様な経歴を持ち、活発な意見交換ができ楽しく参加できました。
- ・ 様々な立場や経験値のある方々とのワイガヤ的ディスカッションは毎度刺激的です。
全国的な交流の場として活用していきたいと思います。
- ・ 初めての参加で戸惑う中で、グループディスカッションの発表者をさせていただき、良い機会になりました。違った職種、世代の方々とお話できるのは本当に貴重でした。
- ・ 地方で活動していると【変わらない】【変わりたくない】という空気の中で、押しつぶされてしまうことも…。確かな情報と挑戦していく勇気をいただくことが出来ました。
- ・ 鈴木会長のウェルビーイング経営は、まさに今、企業で求められている人財への投資が重要視されていると再確認できました。 石原様の変化変革については、「自ら率先して触れながら新しい情報や考え方を学ぶ姿勢」が重要だと改めて感じました。
- ・ 「変革」は本来のイノベーションの意味の通り、無から有を生み出すのではなく既存の価値の共有から新たなモノが生み出されることかと思います。そのためにも夫々の他の価値を認め、対話・議論し、新たな最適なものを創造することが大切かと思います。

◆今後のスケジュール

2026年2月15日(日)、10:00~12:00、テーマ未定、web開催

2026年4月12日(日)、10:00~12:00、テーマ未定、web開催

AMCJクロッシングは、【偶数月 第2日曜日 10時~】を予定しております

サステナブルマネジメントセンター(SMC) SX・GXグループ(SDGs事業部)の活動報告

【SMC-SX・GXグループ: 本田 哲行】

1. YCU | 横浜市立大学 相互連携と協働による2025年度(R7) 後期集中講座

2025年度(R7) 横浜市立大学・後期集中講義「品質ISO論」について、10/18(土)、10/25(土)、11/08(土)／1限～5限(8:50～17:40)を横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス(横浜ランドマークタワー 7F)にて開講しましたので、以下の通り概要を報告いたします。

1-1. 集中講座概要

◇後期講義: ▶「品質ISO論」集中講義(15限／2単位)

◇前期開講日: ▶10/18(土)、10/25(土)、11/08(土)／
1限～5限(8:50～17:40)

◇場 所: 横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス
(横浜ランドマークタワー 7F)

◇受講生: 履修学生



〔▲大蔵さんオリエンテーションの様子〕

1-2. 第1日目『"品質・社会・経済"を切り口に世の中の動向を理解する』



〔▲オリエンテーション後、鈴木会長講義〕

▷〔鈴木 和男／大蔵 充夫〕

- ・オリエンテーション「就活、ISOと品質・ESG経営・ウェルビーイングのグローバル概論」を習得する。
- ・ISO9001:2015(JISQ9001:2015)規格の要求事項と「品質経営」に関する講義を中心に進めていきます。
- ・品質・SDGs経営のグローバル概論(最新動向と社会的背景など)

1-3. 第2日目『品質ISO論』各規格要求事項の解説とビジネスでの活用動向と内部監査

▷〔大蔵 充夫〕

- ・規格解説4 組織の状況(環境マネジメントシステムとは)
- ・規格解説5 リーダーシップ(トップマネジメントの重要性)
- ・規格解説6 計画(ビジネスプランを考える)
- ・規格解説7 支援(ビジネスに必要な要素)
- ・規格解説8 運用(目標達成に導く環境マネジメント)
- ・規格解説9 パフォーマンス評価(ビジネスと成果を可視化)
- ・規格解説10 改善(継続的に改善するための思考方向)



〔▲大蔵さん品質ISO論講義の様子〕

1-4. 第3日目『品質経営のトレンドと事例紹介・ワークショップ(品質×ウェルビーイング)』

▷〔戸田さん、土橋さん〕

- ・ワークショップの事前講義(目的・ゴールの明確化、グランドルールの共有化など)
- ・カードゲームトレーニング、SWOT分析／クロスSWOT分析など

★後期品質ISO論 試験

★ワークショップ（土橋さん、グループ別討議および各グループ発表）

課題：「キャンパスのウェルビーイングを高める "品質改善プロジェクト" を提案せよ!!」



[▲戸田さん講義]



[▲土橋さん講義]



[▲各グループワークの様子]



[▲各グループ発表の様子]

★試験解答・解説（30分程度）

・まとめ → 「修了証」授与、集合写真撮影

1-5. R7(2025)後期・集中講義修了証授与後の集合写真



[▲大蔵担当講師、ゲスト講師（鈴木会長、土橋、戸田、本田）と国際教養学部生との集合写真]

以上

2. ▶第2回 官民MEET宮城(仙台)2025

「官民MEET」は、プラットフォーム上では伝えきれない課題の背景や現状について直接意見交換ができたり、自治体同士の交流や民間事業者のソリューションの情報収集ができる場として開催している対面型マッチングイベントです。以下の通り概要を報告いたします。

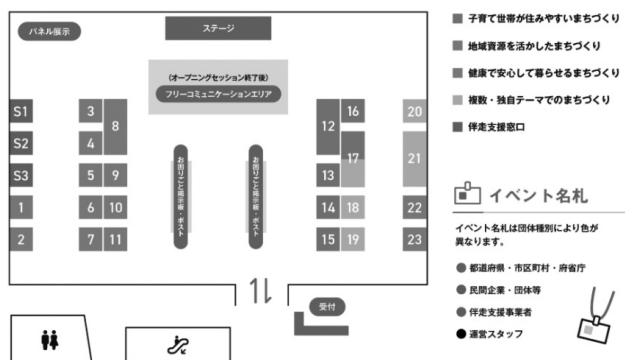
2-1. 開催日時：2025年11月17日(月)
13:00～16:30(開場12:50～)

2-2. 開催場所：多目的ホール(AER 5階)
仙台市青葉区中央1-3-1ビル

2-3. 開催方法：対面型マッチングイベント

2-4. 参加対象：自治体職員、民間事業者等

2-5. 当会参加者：東北支部→高橋 直也さん
SMC-SX・GX→本田 哲行



出典:地方創生SDGs官民連携プラットフォーム提供

2-6. 今回は下記の3テーマで開催されました。



※このテーマ以外でももちろん参加可能です！

出典：地方創生SDGs官民連携プラットフォーム提供

2-7. マッチングイベント風景



出典：地方創生SDGs官民連携プラットフォーム提供

2-8. 次回開催▷第3回官民MEET福岡2025

◇日 程：2026年2月5日(木)／13:00～16:30(予定)

◇場 所：JR九州ホール

◇対象：自治体職員、民間事業者等

◇開催方法：対面／参加費用：無料

※「官民MEET」は、プラットフォーム上では伝えきれない課題の背景や現状について直接意見交換ができます。自治体・民間事業者間の情報交換の場とした対面型マッチングイベントですので地域会員の方々は是非ご参加下さい。

SMC③ESG経営チーム活動報告 ～経営デザインシート～

SMC ESG経営グループ

報告 岡田 光史

はじめに

SMC③ESG経営チームでは、毎月1回メンバーによる研究内容の発表と質疑応答を交わし、研鑽を重ねています。本稿では直近の定例会で発表した『知的資産を使った「過去から現在へ」と「現在から未来へ」の事業評価について』の内容について述べることに致します。

知的資産経営とは

知的資産とは、図表1にある通り、従来のバランスシート上に記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産(特許・ブランドなど)、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。



(図表1) 出所：事業価値を高める経営レポート作成マニュアル改訂版(中小企業基盤整備機構)

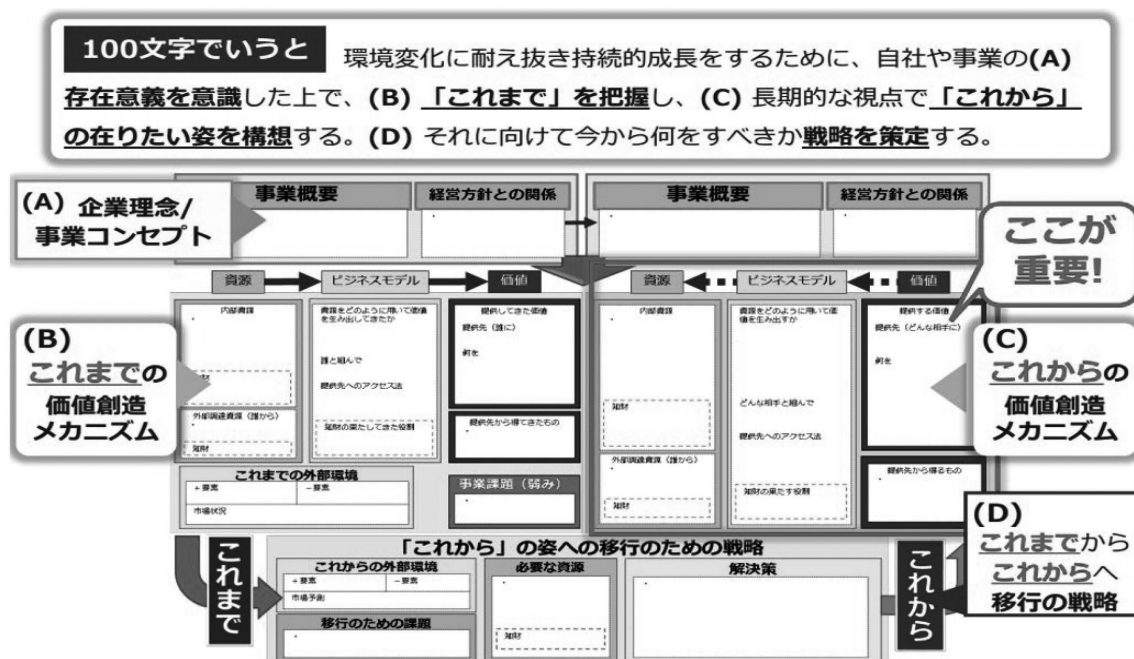
財務や設備等の経営資源に劣る中小企業が、この知的資産を使って成長を目指す経営手法を知的資産経営といいます。この知的資産を使った事業評価のためのツールとして経営デザインシートが内閣府 知的財産戦略推進本部によって開発されました。

経営デザインシートが作られた背景

20世紀型社会では、「モノを作るだけで、売上アップが可能な時代」でしたが、21世紀になると、「顧客ニーズに合わない売れない時代」と変化してきており、ビジネスモデルの変革が求められています。そのために、企業は、外部環境を理解した上で、自らが保有する有形資産、無形資産に加え関係する他社の資産を組み合わせることによって、顧客の求める価値を創出し、提供する仕組み(価値創造のメカニズム)を作り上げることが必要となりました。そのための思考補助ツールとして経営デザインシートが考案されました。

経営デザインシートの概要

前述の経緯から。経営デザインシートの目的は、「環境変化を見据え、自社や事業の「これまで」を把握し、「これから」を構想(デザイン)することにあります。シートの記入箇所は4つの記入欄(A)(B)(C)(D)から構成されています。図表2をご覧ください。



(図表2) 出所：内閣府 知的財産戦略推進事務局

即ち、(A) 企業理念／事業コンセプト等、自社や事業の存在意義を意識した上で、(B) 「これまで」の価値創造メカニズムを把握し、(C) 長期的な視点で、「これから」の在りたい姿を構想し、新しい価値を作る。(D) 「これまで」から「これから」への移行戦略を考えると順番で記入していくことになります。(B) 欄および(C) 欄では、価値を創造するメカニズムとして「提供する価値」「ビジネスモデル」「資源」の関係を明確化するようにになっています。

「これから」を考える上でのポイント

「これから」を考える上でのポイントとして、第一には、「未来のあるべき姿」から「現在の姿」を見るとのバックキャスト思考が必要となることです。「現在の姿」から「未来の姿」を見るではありません。それでは、どうしても現在の延長線で「未来の姿」を考えることになり、革新的なアイデアが生まれにくいものです。第二には、「ムーンショット(月へのショット)」を目指すことです。すなわち、大胆な発想に基づく挑戦的な目標を掲げることです。手に届く目標である「ルーフショット(屋根へのショット)」ではありません。

経営デザインシートが活用される場面

経営デザインシートは、さまざま場面で、活用することができます。社内での経営戦略議論、事業承継での活用、対外的には、金融機関や企業支援者との対話、オープンイノベーションを意図した他企業との対話に活用できます。

一方、価値創造メカニズムに関する情報が1枚にまとめられているため、さまざまなステークホルダーとの対話のきっかけになりますが、企業に関する全ての情報が網羅されている訳ではないので、対話の深まり具合に応じて、情報を付け加えていくが必要になります。

おわりに

経営デザインシートを作成するには、今まであまり経験したことがないバックキャスト思考でのプロセスで検討することになります。作成の課程で、企業にある資源の棚卸、企業の価値やビジネスモデルの認識などの頭の整理をすることになります。そのため、改めて企業の強みを理解し、それを更に深めることができるものと考えます。

以上

1. 2025年の一木会研究会の取組み

2025年度で創立56周年を迎えた一木会研究会(以後一木会)では、知識の深化と実践力の向上を目指し、以下の活動を実施いたしました。

- ①研究会(基本的に2～3か月毎に有料開催)：外部講師を招き、講師の専門分野について基礎知識や講師の実戦経験に基づき得られた知見についてご講演いただくことを目指しています。今年度は、一木会として「AI時代は中堅・中小企業にとって大いなる追い風ではないか」というコンセプトに則り、中堅・中小企業による生成AIを中心としたAI活用による競争力の強化や持続的な成長の実現を目指した研究会を「生成AIシリーズ」と称して、以下の表のように開催しました。
- ②勉強会(研究会以外の月度に開催、幹事以外の参加者は有料)：一木会幹事が講師兼ファシリテーターとなり、そのプラクティスやケースを紹介し、参加者との討議を通じて実践知の共有と向上を目的として、以下の表のようなテーマで開催いたしました。

2. 研究会・勉強会の内容

開催日	開催方式	講師	テーマ
2月25日(土) 10時～12時	勉強会 ZOOM	大宮政男氏(経営士、一木会幹事)	中小企業の課題と 伴走型支援のありかた
3月8日(土) 10時～12時	勉強会 ZOOM	豊田泰行氏(弁護士、経営士、一木会幹事)	社内弁護士のトラブル対応 ～経営士との共通点・相違点～
4月12日(土) 10時～12時	研究会 ZOOM	松野尾萌氏(関東学院大教授) 稲葉直彦氏(経営士、(株)コーポレート ウエルネス代表取締役)	生成AIを活用した経営革新 ～SECIモデルとイノベーションの プロセス～
5月9日(土) 15時～17時	勉強会 ZOOM	阿川光祐氏(経営士、一木会幹事)	責任ある取引の時代へ： 中小企業の新たな選択
6月14日(土) 10時～12時	研究会 ZOOM	河野克典氏(横浜国立大学客員教授・ 博士) 稲葉直彦氏(経営士、(株)コーポレート ウエルネス代表取締役)	「経営者、経営コンサルタント必見！ 生成AIを活用した対話分析について」
7月19日(土) 10時～12時	ZOOM	石塚めぐみ氏(経営士、一木会幹事)	生成AI勉強会
8月9日(土) 15時～17時	研究会 ハイブリッド	新岡優子氏(ビジネスファシリテー ション・サービス代表、生成AI導入コ ンサルタント)	コンサルタントのための AI×ビジネス活用
9月3日(土) 10時～12時	勉強会 ZOOM	石井眞也氏(経営士、一木会幹事、日 本FL物流協会事務局長)	企業経営経験から見る課題と 取り組み事例(物流業界における事例)
10月18日(土) 10時～12時	勉強会 ZOOM	福島光伸氏(経営士、一木会会長)	昨今話題の行動経済学を経営に 取り入れる
11月9日(日) 10時～12時	勉強会 ZOOM	岩永宗久氏(経営士、一木会幹事)	ポジティブ心理学

4月、6月、8月の研究会は、経営士や一般企業の皆様の多数のご参加をいただき、講師のプレゼンテーション後に参加者との活発な質疑応答や意見交換がなされました。また、研究会の様様をZOOMの動画に収め、予定があつて参加ができないが動画視聴のご希望をされた方には後日配信(有料)をいたしました。

3. 2026年度の研究会と勉強会

2026年度の研究会は、2025年度と同様に統一的なテーマで開催(有料)し、当会の会員と一般企業の方も参加いただきます。勉強会は一木会幹事がその専門性分野や問題意識のあるコンサルティング分野のテーマで幹事中心に開催し、当会の会員の皆様にも参加いただくべきテーマの場合にはご案内をさせていただき予定(有料)です。

両会ともに、都度ご案内をいたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

(一木会企画担当幹事 大宮 政男)

北海道支部では経営士を知って頂き、入会者を増やす中長期的な活動として昨年度から外部に経営士会の紹介を目的とした講演会を実施している。今年度は7月の函館地区での開催と今回11月1日に札幌地区で14名の参加、支部顧問で小樽商科大学副学長の玉井健一教授に「イノベーションと経営組織」と題して実施した。この講演会では経営の大切さ、経営士活動の重要性を紹介した。

1. イノベーションについての概観

イノベーションは、人によって概念や理解が異なるとの説明が講師の玉井教授からあつた。わが国は、ものづくりにおいては、世界経済を牽引した時代もあつたが、この30年間失われた時代と言われており、技術とともに経営戦略や経営組織づくりにおけるイノベーションの重要性が高まっていると認識している。

今回の講演会は、イノベーションの位置づけ、定義・タイプ、プロセス、管理、協調関係の構築などの体系的なイノベーションについて説明して頂いた。

2. 「イノベーションと経営組織」講演の内容

①イノベーションの位置づけは、新しいイノベーションが新たな価値を作り出し、競争力を高め、経済発展GDPの成長を生み出すものである。②-1定義は組織的定義として「組織内部で生み出すか、外部から獲得するかに関わらず、新しいもの(デバイス、システム、ポリシー、プログラム、プロセス、製品・サービス)を採用することである。②-2タイプは経営(管理革新)と技術革新(製品革新、工程革新)の2つからなる。企業事例などから革新のタイプの説明があつたが、成長している企業は継続的なイノベーションの取組がなされていること、特に、経営(管理革新)を含めた取組がなされているとの説明が印象的であつた。③プロセスは一般的な課題解決のプロセスと同一であるが、取組の領域が広く、深いこと、消費者視点で課題をとらえていることが特徴的である。④イノベーション管理は経済的、政治的、行動的の各要素によって阻害される可能性があり、中長期的な投資視点での取組が重要であるとの説明があつた。⑤協調関係の構築では競合先や各種補完先との関係構築が重要であることの説明があつた。

講演の後に質疑と意見交換の時間が持たれたが、参加者からイノベーション推進する上での経営組織の課題や、推進を阻害する点の解決方法などについて質疑がなされた。また、推進の上で資金確保が大きな課題であるとの意見も出された。



3. 講演を通して学んだ点

イノベーションは大企業だけのものでないこと、中小事業者にとっても本質的な製品・サービス提供においては新たな価値を作り出すことが重要であること、特に、経営(管理革新)の視点から考えることの重要性を知ることができた。

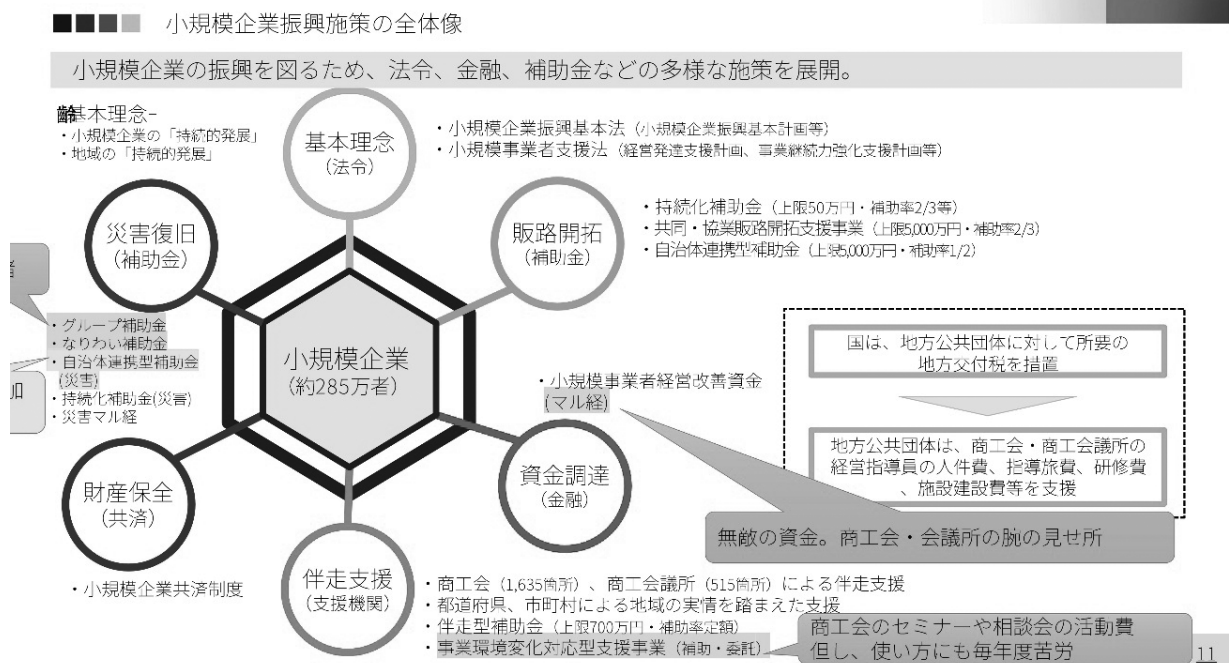
新たに学んだ点として、協調関係の構築で玉井教授は、競合先との協調・協力についての説明があつた。市場を拡大するためには、競合間の協力が欠かせないとの説明があつた。考えてみれば競争力が世界の1990年の頃は、家電等の同業企業間の多様な連携が見られた。新しい時代は技術や製品の連携ばかりでなく、幅広く経営(管理)の連携も重要であると考えられる。特に、中小企業は、経営資源に制約があるなかで関係先の多様な連携を実現することは、これまでとは異なる経営を展開する上で重要であると感じた。

(記載 須川 清一)

1) 経営士補養成講座

9月より始めた経営士補養成講座が11月に修了して無事、4名の受講生全員が滞りなく全課程を終えました。11月8日には東北経済産業局産業部中小企業課の酒井原課長の講義もあって、担当時間が短い中でも目いっぱいの講義内容をしていただきまして国の中小企業支援の方向性などを学ぶことが出来ました。この時は講座の受講生だけでなく、一般の経営士も参加してお話を聞く機会を持て、皆大変勉強になったことと思います。この資料は88ページにも及び繰り返し確認できるよう出席者に配布されました。講座終了後はまだ経営士補になる予定の人材はおりませんが、この勉強をきっかけに日本経営士会の認知を高め、参加メンバーの本業である銀行業務や税理士業務の中で学びを生かした活動をしてくれることと思います。

しかし現状のままでは支部会員数が減少しており、支部活動の活性化を図るためには、地方でも「経営士養成講座」の開催や、会員同士のコミュニケーションの促進を図り、経営士を目指す人材を確保することが急務と思います。地方から経営士会全体を活性化する施策を他人任せではなく支部全体の課題として考えていかなければならないと存じます。



酒井原課長の資料の一部



2) ブラッシュアップセミナー

12月6日には 東北支部定例の「ブラッシュアップセミナー」と役員会議がありました。

これは、会員の会員による活動報告の場として、情報交換の場として続いているもので、大変ためになる学習の場となっています。

今回は宮城県大崎市で活躍している阿部敬一郎さんが「知識だけではもったいない！実践型経営支援メソッド」と題して、経営士会の「プロ講師育成講座」においての学びが大変ためになったこと、その後2冊の本を上梓したこと、さらには新規事業を始めた経緯など、臨場感たっぷりに講演してくださいました。

また、岩手県矢巾町で長年活躍している細川榮子さんは「会社の終わらせ方(終わり方)」と題して、ご自身が体験したM&Aの話や、会社の解散登記から清算終了まで7年も掛かった会社、きれいに会社を閉めた事例など、具体的な事例をたっぷりと含んでお話ししてくださいました。

その中でも、近年終活でエンディングノートの作成が勧められているが、良かれと思って記録したことが、後々大変なことになった事例など興味深く拝聴しました。

お二人の講座は、これからの私たちの活動にも大変役に立つ話でした。また、次回の講座にも期待が高まります。



阿部敬一郎さん



細川榮子さん

3) 冬の恒例MPPについて

今年度、東北支部の冬のMPPについては例年温泉地で開催しておりましたが、近年の温泉旅館の宿泊費高騰もあって参加者が少なくなっていることを踏まえ、日帰りで、仙台市内の会場を確保して開催することとなりました。

会場など不確定なところがありますが、チラシの初校を掲載しますので、ご参加を検討される方は、東北支部までお問合せをお願いします。東北支部のホームページでも情報が確定次第更新いたします。

一般社団法人日本経営士会 東北支部 MPPのご案内



◆日 時◆	令和8年1月24日（土）
◆会 場◆	仙台協立第2ビル7階第2会議室（予定） 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1丁目8-14
◆会 費◆	一人 1,500円～2,000円程度
◆アクセス◆	○車で 東北自動車道「仙台宮城IC」より6分 （専用の駐車場はありませんので近くのコインパーキングをご利用ください） ○電車で JR仙石線 あおば通駅 徒歩5分 仙台市営地下鉄南北線 広瀬通駅 徒歩5分 JR東北本線（黒磯～利府・盛岡） 仙台駅 徒歩5分 仙台市営地下鉄南北線 五橋駅 徒歩5分 仙台市営地下鉄南北線 勾当台公園駅 徒歩5分。
◆日 程◆	1月24日（土） 13：00 受付開始 13：30～ MPPスタート
◆備 考◆	○MPP終了後、軽く懇親会を予定しております。（会費は実費です）

参加申込書

令和8年1月24日（一社）日本経営士会東北支部

MPP （ 参加 ・ 不参加 ）

懇親会 （ 参加 ・ 不参加 ）

お名前： _____ 所属支部： _____ 勤務先： _____

ご住所： _____

ご連絡先： TEL _____ Email _____

お申込み・問い合わせ（TEL、FAX若しくはEmailにてお申し込み下さい）

一般社団法人 日本経営士会 東北支部 担当：佐藤広文

TEL 090-9740-6194 FAX 022-253-1163 または ▶E mail: hidakami01@gmail.com

※申し込み期限：会場他資料の準備等もございますので令和8年1月10日までをお願いします。

（申し込み状況により、期限を早める場合もありますのでご了承ください。）

新潟県会 粉川 雅人

北関東支部新潟県会では、外部研修として毎年地元の企業見学等を実施しています。

本年度の外部研修は、11月15日(土)に新潟県村上市にあります「料亭能登新」様と「味匠吉っ川」様を訪問しました。村上市に伝わる「鮭料理」をいただきながら、料亭能登新の代表であり料理長の山貝誠様よりお料理や鮭漁の状況等についてお話を伺いました。

参加者 栗山北関東支部長、木村新潟県会長、粉川副会長
東北支部 桔梗会員、長岡科学技術大学 勝身麻美先生

当日、三面川で水揚げされた鮭は6匹、その内の1尾を使い死後硬直前に鮭をぶつ切りにしてみそ汁で煮る川煮を含む鮭のフルコースを堪能しました。まずは目で楽しむ。伝統の村上木彫堆朱三彩彫※のお膳、参加者一人一人絵柄が違います。お膳に一つ一つお料理が並べられ、お料理の説明が行われます。料理長の川煮の取り分け、こだわりの調理法など大変勉強になりました。

鮭漁は昨年1日50~60匹、3~4年前は1日500匹の水揚げで、従来と比べると1/100に減少、一昨年の水害の影響、海水温上昇により生まれた川まで戻ってこれない、成長期の海域に必要なプランクトンがない等様々な要因が考えられますが、明確なものはありません。鮭の大きさにも変化があり、小ぶりの4kg程度の鮭しか獲れず、標準の5~7kgが少なく、10kgの鮭はもはや幻です。人工ふ化と放流も毎年続けられておりますが、先行きが見えない状況です。

そのほか、産業としての鮭文化の継承や村上市内の熊出没の話から、村上市の捕獲状況、ジビエの取引状況などの貴重なお話も聞くことができました。



(山貝料理長 様)

御献立

前菜(氷頭生酢和え、なわた辛煮、十五年ものめん不、白子・どんびこ甘煮、皮せんべい酒びたし・皮、ほった味噌田楽)／
椀物(卵皮煮椀)／大皿(三面川 川煮)／蒸し物(鮭ときのこのみぞれ蒸し)／油物(原木椎茸鮭鮭しんじょう二身揚げ、氷頭せんべい)／焼物(鮭焼き漬・塩引鮭)／食事(正油はらこ、いわふねこしひかり土鍋、香の物)／止椀(二年熟成みそ汁)／
氷菓子(和ぷりん)

昼食後に「味匠吉っ川」様の店舗を訪問し、大量に吊り下げられた塩引き鮭の見学、入り口にある鮭の文字ののれんの前で、吉永小百合さんのJR東日本のポスターと同じアングルで写真撮影を行い解散となりました。村上の伝統文化に触れた有意義な1日となりました。

※三彩彫(さんさいぼり)：木地に朱・黄・緑と色漆を塗り重ねていき、最後に黒を塗り磨きます。そこを模様に合わせて剥ぎ彫りにします。

支部活動報告

北関東支部

新潟県会

第49回公開MPP

北関東支部 新潟県会

新潟県会 渡辺 勝也

新潟県会 第49回 公開MPP

日 時：2025年11月29日(土) 13:30～16:30(3時間)

会 場：長岡市 社会福祉センター トモシア 研修室

参加者：新潟県会：木村県会長、西山副会長、粉川副会長、鈴木会員、本間会員、渡辺会員

東北支部：桔梗会員、東京支部：日野会員

一 般：小黑司友氏、片桐誠司氏、勝身麻美氏、中嶋一登氏、山岸 開氏

第49回公開MPPを会員8名、一般5名、計13名で、長岡市社会福祉センター トモシアにて開催しました。

ケースは新潟県会MPPケース研究会のトライアルケース「事業承継過渡期における後継経営者のジレンマ」を使用し、Aチームは5名(L鈴木会員、R勝身氏、木村会員、中嶋氏、片桐氏)、Bチームは4名(L桔梗会員、R渡辺会員、西山会員、小黑氏)、Cチームは4名(L日野会員、R本間会員、粉川会員、山岸氏)の3チームで討議を行いました。

ケース概要は「木材チップ加工・運搬を行う中堅企業。法令違反や書類未整備、労基・環境監査での指摘が続き、体制改革を進めてきた。直近では社長と常務の過積載対応方針が対立し、コスト最適か法令遵守か、承継期特有の価値観の衝突が表面化している。」会社の適切な対応と承継の促進について担当経営士の関わり方についての助言を求めています。

Aチームは、問題点とリスクに切り分けて議論し、決定権限は社長のまま、常務の改革を実行し、経営会議できちんと進捗と方向性を確認する提案を行いました。Bチームは、事業の関係省庁の把握と影響について議論し、経営士が、社長と常務に現状と未来への影響を説明する機会を経て、社長の意を汲みつつ、常務の改革を促進する提案を行いました。Cチームは、登場人物の人間性や将来の収益、そして法令順守に議論し、役員会で話し合いを行って、社長が決定していくプロセスを作る。その中で、売上3億減の対策としての新事業や、法令順守と効率性の両立を図る。新事業の推進に、常務にも代表権を持たせて、対外的な立場を明確にする提案を行いました。

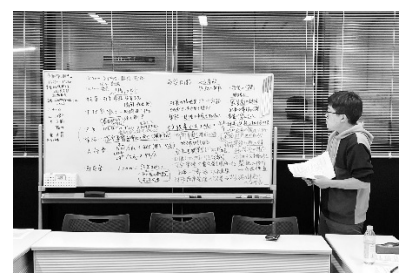
終了後は3チームの発表と質疑応答を行い、新潟県会MPPケース研究会の渡辺会員から登場人物の詳細と現状についてのケース解説が行われました。MPP終了後は会場を移し、会員、一般参加者との情報交換と懇親を深めた有意義な一日となりました。



(Aチーム発表 中嶋氏)



(Bチーム発表 小黑氏)



(Cチーム発表 山岸氏)

支部活動報告

北関東支部

茨城県会

セミナー開催報告

北関東支部 茨城県会

茨城県会 経営士 塚本 明子

開催日・開催場所：令和6年10月25日(土)・ワークプラザ勝田

1. 概要

地域の事業者を対象に「チラシ作成セミナー」を開催しました。チラシの基本構成や見せ方のコツ、伝わるデザインの考え方などをテーマに、事例を交えながら説明を行いました。

2. 参加者数

経営士会のメンバーを含む 11名 が参加しました。

3. 内容

チラシの目的と役割

ターゲット設定と伝え方の工夫

レイアウト構成とデザインの基本

事例紹介と実践ワーク



4. 参加者の反応

参加者からは「内容がわかりやすく実践的だった」「自社のチラシ作成にすぐ活かそう」など、好評の声をいただきました。全体を通して「勉強になった」「今後の活動に役立てたい」との感想が多く寄せられました。

5. まとめ

本セミナーを通じて、参加者が自社の魅力を効果的に伝えるチラシ作成の基本を学ぶ機会となりました。今後もデザインを活用した情報発信支援を継続していきたいと考えます。

北関東支部 茨城県会 今後の予定

2025/12/20：ひたちなか商工会議所 月例会・月例研究会セミナー 講師：幡谷氏

2026/01/24：筑西市ダイヤモンドホール 栃木・茨城県会交流セミナー 講師：臼井氏

2026/02/21：ひたちなか商工会議所 第2回 公開MPP

2026/03/28：たちなか商工会議所 月例会・月例研究会セミナー 講師：小林氏

10月、11月の千葉支部の幹事会・運営委員会は、引き続きハイブリット方式により開催しました。

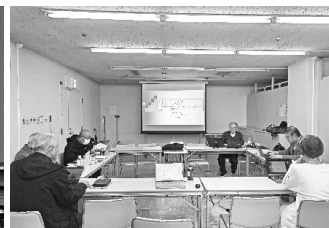
■活動内容

① 10月幹事会・運営委員会・3Cの会

開催日時：2025年10月25日(土) 13:00～17:00 第1・2部 中央公民館(第9集会室) (Zoom併用)
参加者数：リアル参加 8名、Zoom参加 3名 合計 12名

【第一部】「幹事会・運営委員会」

- (1) 10月理事会の報告
- (2) 下期事業計画詳細検討
- (3) 千葉県経営者協会セミナー実施報告
- (4) 全国研の報告
- (5) その他



(3Cの会の様子)

【第二部】「3Cの会」

- (1) 3Cの会

講演：ビジネススキルアップ講座 「スマート仕事術」

—2025年秋 生成AI最新動向 大きく変わった生成AIの利用環境—

講師：千葉支部 副支部長 鈴木 伸一 様

GPT5が登場したが、GPT4のほうが良かったという声も多い。能力はすごく上がっている。文学・歴史は弱い。数的なものはドクターレベル。GPTを使って新しいものを発見するということも始まっている。

<AIは資金力豊富な2強時代へ>

- ① トップの座維持に資金調達に走るOpenAIであるが、儲かってはいない。
- ② 現状の主益をAIに投資するGoogleは時価総額3兆ドル(メインは広告収入)であるが、AI検索結果を出すことで広告収入ダウンのリスクにさらされている。

発表後の議論も積極的に行われた。AIを秘書的に使う。SEはAIに仕事を奪われるという恐ろしさを感じている。頭となるプランニングが大切。AIは与えたものをやってくれる。発想はAIではなく、自分たちがやらなければならない。経験のない若い子はそこに行けない。ドロップアウトしてしまう。年配のベテランが考えなければならない。

② 11月幹事会・運営委員会・3Cの会

開催日時：2025年11月29日(土) 13:00～17:00 第1・2部 海神公民館(第4集会室・第1集会室) (Zoom併用)
参加者数：リアル参加 9名、Zoom参加 0名 合計 9名

【第一部】「幹事会・運営委員会」

- (1) 11月理事会の報告
- (2) MPPの現状と今後の取り組みについて
- (3) その他

【第二部】「3Cの会」

- (1) 3Cの会

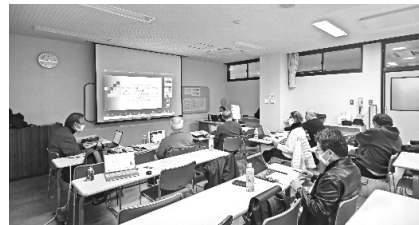
講演：ビジネススキルアップ講座 番外編 「スマート仕事術」

—初歩から学びなおす ChatGPT使いこなし術—

講師：千葉支部 副支部長 鈴木 伸一 様

今回は復習編で、実際に各自のパソコンで、ChatGPTを起動して作業を行った。また、スマホアプリのChatGPTも音声入力ですべて実際に使ってみる体験型の内容だった。

長く複雑なプロンプトはメモ帳で入力しておいたものを貼り付けするのが良い。貼り付けはCtrl+Shift+V(プレーンテキストとして貼り付ける)で行う。スマホだとChatGPTのアプリでマイクマークを押すと音声入力モードに変わる。AIの結果は1回で終わりではない、何度も修正して必要なものにする。



(3Cの会の様子)

(記：須藤 英幸)

支部活動報告

埼玉支部報告書10・11月

埼玉支部

埼玉支部では、10月に開催した全国研の報告書のまとめ、および来年開催予定の第64期養成講座の準備のための話し合いを実施しております。

■10月例会 10月15日(水) 19:30~21:00

【活動概要】

1. 全国研の総括
2. 64期経営士養成講座について
3. その他

【全国研総括】

1. 実施概要

日時：2025年10月11日、12日

会場：大宮ソニックシティ国際会議室

2. 参加者130名

(内訳)

会員：101名一般：7名

アワード：14名講演、来賓：8名

懇親会：106名(お申込み)

3. 成果等

- ・関係者には達成感を得られた内容
- ・支部会員との結束が強まった

4. 反省、課題

- ・開催準備で手一杯となり、会内外への広報活動が十分にできなかった
- ・時間が自由に使える立場の人に負荷がかかりすぎた

全国研は、130名程の方の参加をいただき、無事に開催することができました。
改めて、お礼申し上げます。

◆1日目 表彰式

	賞	企業名等	代表者	業種
1	大賞	吉岡製造有限会社	代表取締役社長 吉岡 和広	廃食油リサイクル業
2	優秀賞	東京インキ㈱	代表取締役 堀川 聡	インキ等製造販売
3	優秀賞	佐藤 秀樹	江戸川大学 准教授	大学教員
4	優秀賞	医療法人T & K 坂井おとこども歯科	坂井 清隆 院長	医療業
5	優秀賞	弓削多醤油株式会社	代表取締役 弓削多洋一	醤油製造販売

ビジネス・イノベーション・アワード(BIA)受賞者



MPP高単位取得者表彰



400単位 塚本 裕有様
100単位 岩井 美喜夫様

報告書の一部

■64期経営士養成講座 準備状況

1. 講座開催日程：2026年1月17日(土)スタート、3月28日(土)修了式
2. カリキュラム等：HP(「第64期経営士養成講座」のご案内)をご覧ください。
3. 集客方法：LPでの案内、説明会開催、Peatix等での広報
4. 無料セミナー&講座説明会

11月22日(土)、29日(土)、30日(日)、12月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)

時間：いずれも 10:00~11:30

- ※1. 受講料の割引：推薦で入会された経営士の方、および準会員(経営士補・環境経営士・SDGs経営士)の方は受講料が30%オフになります。(税込154,000円)
- ※2. 紹介料：受講者をご紹介いただいた方には、お一人当たり3万円の紹介謝金をお支払いいたします。
- ※3. 人事担当者、経営者への紹介依頼
この講座を、幹部や次世代リーダー育成にも活用していただきたいと思います。
お知り合いの経営者や人事担当者の方にもぜひご紹介ください。
受講者があった場合は、上記と同様にお一人当たり3万円の謝金をお支払いいたします。
- ※4. 部分受講について
会員の方は、学びたい講座のみの部分受講ができます。
希望者は、募集要項でカリキュラムを確認後、右のQRコード、もしくは以下のGフォームからお申込みください。
なお、部分受講はオンラインのみとなります。
「部分受講お申込みシート」
<https://forms.gle/Q6n95pULBdDFnq8R8>



以上(文責：楠本)

東京支部では、2025年11月15(土)、MPP(経営管理能力開発プログラム)をリアル開催にて実施いたしましたので下記のとおりご報告申し上げます。

記

1 ケースの概要

テーマ：後継者との経営戦略の違いをどう克服するか

概要：農作物の生産が盛んな人口1万人強の町で時計・メガネ・宝飾品を扱う専門店で、後継者となる息子はメガネ専門チェーンで5年修行してきたものであり、メガネ専門店のノウハウを基にメガネを主力とした店舗を目指したいと考えている。これに対し、現経営者は、人口が少ない田舎町ではメガネ専門では商売は成り立たないと反対している。現経営者から新店舗の経営戦略と後継者問題について経営コンサルタントに相談を受けた場合、どう支援するか。

2 MPPの進行について

まず、MPP委員会よりケース・メソッドの趣旨説明が行われました。続いて2チームに分かれ、各チームで自己紹介の後、ケース検討に入りました。約90分の討議時間を経て、各チームから検討結果のプレゼンテーションが行われました。

3 各チームのプレゼンテーションについて

(1) プレゼンテーションの内容

①Aチーム：Aチームでは「どう支援するか」という問いにフォーカスし、現経営者及び後継者と協議しつつ、コンサルタントとして後継者を支援して後継者に事業計画書を作成してもらう、という提案をした。また、事業計画書の作成において「時計・メガネ・宝飾品を扱う」か、「メガネ専門店」か、という商材での対立は折り合いが困難なため、何を扱う(手段)ではなくどのような価値を提供したいか(目的)に視座を上げるべき旨が述べられました。

②Bチーム：メガネ専門店とするという後継者の方針が妥当なのかという点が前提として重要であるとして、まずは経営診断を行い当該店舗の強み・過去の成功要因を明らかにするという提案をしました。そのうえで、メガネ専門店は厳しいであろう場合に、後継者を否定するようなことにならないように、メガネ専門店で培ったノウハウが時計・宝飾品等に活かさないか、宝飾品とメガネを結び付けた新規事業をできないか、といった方向で検討をすることが提案されました。

(2)Aチームではどのように支援するかについて進め方にフォーカスをしていたのに対し、Bチームでは経営分析をして経営分析をして方針の提案をするという内容にフォーカスをした点で違いがありました。他方で、両チームとも、経営者・後継者の考えを傾聴すべきという姿勢は一貫しており、事業の成否において「経営者の思い」の重要性がうかがわれます。

4 感想及び今後について

(1)参加者アンケートでは「みなさまの有益なご意見を聞くことで、自分の考えとの共通点や相違点を分析したりすることもできました。」とのコメントがありました。様々な方との協議を通じて自身の考えを相対化できることが、MPPに参加する意義の一つであると考えています。

(2)東京支部では次回のMPPを2026年2月8日(日)に対面で開催することを予定しております。有意義な会となるよう努めますので、皆様のご参加をお待ちしております。



(東京支部MPP)

以上

活動報告

■支部幹事会(9～12月)

毎月第1水曜日の20時からオンラインにて開催しています。理事支部長会及び中日本ブロック会議のフィードバック、南関東支部の活動、第65期経営士養成講座運営の準備、各経営支援センターからの報告等を行っています。

■わいがや会(9～12月)

毎月第2土曜日の10時からリアル及びオンラインのハイブリッドにて開催しており、必要に応じて昼食を挟んで午後も開催しています。新入会者紹介、本部・各事業部・委員会・他支部の活動状況の報告、及び、講座や制度の現状報告等が行われています。新入会員が、他の会員や経営士会の活動を知るための機会になっています。

■「山梨テクノICTメッセ2025への出展(山梨経営支援センター)」



2025年11月14日(金)・15日(土) 山梨県甲府市のアイメッセ山梨(山梨県立産業展示交流館)で開催された「山梨テクノICTメッセ2025」に山梨経営支援センターが4年連続で出展いたしました。当イベントは「やまなしの熟練技術とICTの最先端ここから世界へ!!」をスローガンに山梨県内の83の企業・団体・行政機関が参加し、2日間で約5000名の来場がありました。日本経営士会ブースには42社が来訪し、顧客ニーズの生の声を直接聴くことで、現状の把握と経営士会のPRが

できました。なお、商談見込み13件、推薦入会見込み2名と具体的な成果も出せました。神奈川経営支援センターからは3名が参加しました(写真右)。

山梨テクノICTメッセ2025公式サイト

<https://yamanashi-technoict.jp/>

■新入会員

8～11月にかけて数名の新入会員が関東支部に入会しました。日本経営士会に所属することによるメリットを実感していただくため、セミナーを案内したり、懇親会を開催したりする等、会員同士の交流を深めていく予定です。

■かながわビジネスオーディション2026への協賛・後援

神奈川県等が主催する「かながわビジネスオーディション」では、起業家やベンチャー企業等から、神奈川発のニュービジネスとしてふさわしいビジネスプランを募集し、優秀なビジネスアイデアに対して表彰を行っています。日本経営士会は協賛団体として参加し、神奈川経営支援センターがビジネスプランの審査に関与しています。最終審査会は2026年2月5日(木)にパシフィコ横浜にて開催されます。

かながわビジネスオーディション2026公式サイト

<https://www.b-audition.jp/>

■第65期 経営士養成講座の開催

2026年5月～7月にかけて開催予定の「第65期 経営士養成講座」の準備作業を進めています。講師の依頼とスケジュール調整、研修先への事前訪問・検討、受講生募集のための広報活動等を行っています。最新情報は「経営士養成講座」と検索してご覧ください。

(記：伏見 靖)

◆10月度中部支部研究会

開催日：2025年10月18日(土) 会場：タワーラウンジ・カシメ(名古屋TV塔3階)

■第1部

演題：「品質とは？ 当たり前品質と、顧客の心に刺さる魅力的品質(商標品質)」

講師：大坪 康浩 経営士 技術士

私は、機械メーカーに勤務しており品質保証を担当しています。定年を数年後に控え、独立して品質をテーマにコンサル開業を志しています。そこで今回、経営とは少し違う切り口で、私のコンサルメニューのひとつである「魅力品質作り」をテーマとして紹介させていただきました。

品質は「お客様の期待を満足させる度合い」と捉えることができます。



さらに品質は大きく分けて二つの考え方があります。第一に「当たり前品質」。これは備わっていて当然の品質のことです。椅子が壊れずに座れる。家電が説明書通りに動く。注文通りの料理が出てくる等です。しかしビジネスにおいて、品質で他者を凌駕するためには、これだけでは不十分です。必要な「当たり前品質」を必ず確保することに加え、「魅力品質」により差別化し、競争力を高めることが必要です。

魅力品質とは「なくても不満はないが、あると感動する品質」のことです。例えば、ホテルの部屋に手書きの誕生日メッセージとギフトが置かれていた。車庫入れが苦手な人のためにクルマが自動で縦列駐車をしてくれる。引き出す時にくっ付いたり破れたりしないサランラップ(筆者要望)、等です。

そして魅力品質を支える裏側には、確固とした独自の品質基準があります。「関アジ」をご存じですね。佐賀関でとれたアジ全てを言うものではありません。大変厳しい品質基準を満たしたものだけが名乗れる商標です。「揖保乃糸」も然りです。揖保乃糸という会社の商標ではありません。協同組合によって厳格に管理された基準にパスしたメーカーの素麺だけが名乗れます。さあ、ほかにも色々「魅力品質」を備える製品やサービスが作れそうですね。ですがもう一度お伝えします。そこには確固とした「品質基準」が必要なのです。

私のコンサルでは、この「魅力(商標)品質」と、それを支える「独自品質基準」作りの体系化を実施します。

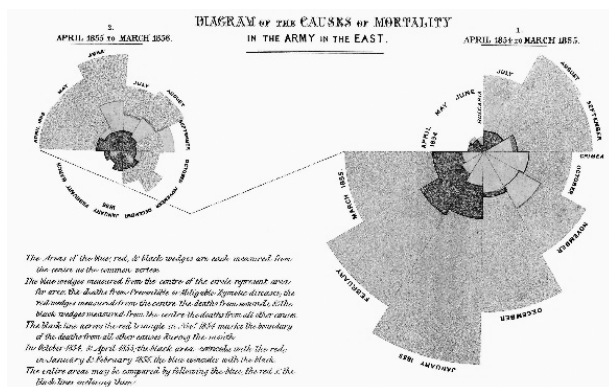
(記：大坪 康浩)

■第2部

演 題：「経営戦略史のトレビア」 講 師：江口 敬一 経営士

史実、人物にまつわるトレビア(ムダ知識)、ノイズ(ムダ情報)から戦略理論の本質を探ることをテーマに、今回は、戦略理論の起点である「科学的管理法」と「人間関係論」に関し、「統計学の母」といわれる人物は誰か？「アフタヌーンティーの習慣」はなぜ生まれた？などクイズ形式で、その本質に迫るアプローチを試みました。以下概要。

- ・研究会開催日の10月18日は「統計の日」。「統計学の母」とされるのは、「近代看護の母」でもあるF・ナイチンゲール。クリミア戦争(1853~56年)では、看護団を率い前線の兵舎病院で看護活動にあたった。病院での死因全ての統計をとり、死亡原因の約80%が感染症であるとイギリス議会に報告。病院の衛生環境を改善する提案を行なうも、議会は、「戦死は戦傷によるもの」との固定観念から報告と提案を無視。



- ・そのため彼女は、円形グラフの扇状の面積で、死因別の死者数が一目で分かる「バツツ・ウィング」「コックスコム」など独創的なグラフを考案し、統計とともに提出。議会は一転、彼女の報告と感染症対策を受け入れ実施した結果、死亡率は、43%から5%にまで激減した。
- ・ナイチンゲールに関するトレビアは、「数値で現状を定量的に把握し、科学的根拠に基づき課題解決を図る」ことが、後の科学的管理法(F・テラー)、統計的品质管理(E・デミング)など現代経営のオペレーションに通じる、戦略理論の本質であることを示している。
- ・彼女が兵舎病院で最初に行ったのが、トイレの清掃。衛生管理を徹底し、「看護覚え書」等で看護教育に貢献したナイチンゲールは、「5S(清掃・清潔・整理・整頓・躰)の母」でもあり、統計と独創的なグラフを使い「数字でモノを言い、数字を見える化する」手法は、「ビジュアル・プレゼンテーションの母」と呼ぶにふさわしい。
- ・アフタヌーンティーの習慣は、産業革命で生まれた。英国では午後の時間帯に、工場労働者に砂糖を入れた濃い紅茶を提供し、糖分とカフェイン効果で労働者の生産性向上が図られていた。これがブルジョワ階級にも広がり文化的習慣となった。
- ・アフタヌーンティーの習慣は、後のホーソン実験など人間の生産性に着目した「人間関係論」(E・メイヨー)にも通じ、人的資本の本質は、「ヒトの生産性向上」であることを示している。C・シャネルの女性の「パンツスタイル」「スーツにポケット」もこの本質を示唆するトレビア、ノイズである。
- ・人的資本主義、健康経営、ウェルビーイングも、本質である労働生産性向上の視点を欠き、「ヒトを大切にしよう」だけであれば、中小企業を圧迫する負の圧力になりかねない。
- ・本質とは、「時を経ても変わらない原理・原則」のこと。本質を知るには、源流までさかのぼることが大切、その考える過程が経営の「実戦知」にもつながる。

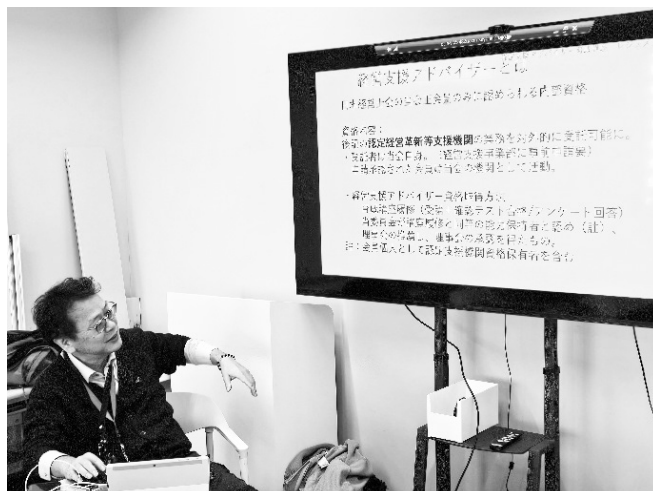
(記：江口 敬一)

◆11月度中部支部研究会

開催日：2025年10月18日(土) 会場：タワーラウンジ・カシメ(名古屋TV塔3階)

演 題：「経営に関する税金知識」

講 師：竹中 啓倫 経営士 税理士



税理士である講師は、名古屋税理士会本会で中小企業支援対策部に所属しているため、中小企業に対する税理士の役割について話をしました。税理士以外に向けた税務の広報活動と保証協会様の信用保証料の減免についても意見を出させていただいております、また、認定支援機関への取り組みについても、私を含め多くの税理士は認定支援機関を取得しているにも関わらず、業務上生かし切れていない

現状を踏まえ、期待を込めて、経営士会が行っている経営支援アドバイザーとの親和性についてもお話ししました。以下、概要。

・個人事業と法人の違いについて

個人(所得税)は累進課税なので所得が増えると税額が増えるが、法人は単一税率なので高所得者には有利になる。

・所得税の内容について

メリットは青色申告の特典使って節税を。青色申告控除の利用や奥様を従業員として給与を払い経費可能、30万円未満の固定資産は一括経費で。

・単式簿記と複式簿記の違い

簡単な例題で説明しましたが、複式簿記は決して難しくないのです！パソコンを使えばもっと簡単です。

・消費税の特徴とインボイス制度について

インボイス登録のメリットデメリットは仕組みだけでも知っておけば、問題なし。

とテーマを絞って、細かい計算などは一切無視して、お話をさせていただきました。インボイス制度は興味があるかと思い、本則課税とインボイス登録関係の説明は力を入れてお話ししましたが、仕入れ側に消費税処理が税額に無関係となる簡易課税の話をとばしてしまい、追加説明になってしまい、受講生の皆様には大変ご迷惑をおかけし、失礼いたしました。こちらの方が身近でしたよね。講演の全体的な感想としては、皆さんの税務レベルが高いので、もう少し、難しい話をした方がよかったのかな？と反省しきりでした…。確定申告の実務のオーダーを頂きましたので、今後検討させていただきます。

(記：竹中 啓倫)

◆第5回ビジカル交流会

開催日：2025年11月29日(土) 会場：タワーラウンジ・カシメ(名古屋TV塔3階)

■ビジカル・メインスピーチ

テーマ：「住まいから母子の尊厳を取り戻す」

スピーカー：森 みちか 氏 認定NPO法人LivEQuality HUB(リブクオリティ・ハブ)

「ビジカル」とは、ビジネス×エシカルの造語。環境や社会に優しい事業や活動のPRとマッチングの場づくりとして、「ビジカル交流会」を開催しています。今回のメインスピーチは、認定NPO LivEQuality HUB（リブクオリティ・ハブ）の森みちかさんに、DVや就業環境の悪化、外国籍などの理由で住まいを持たないシングルマザーに対して、不動産会社や金融機関と連携した支援事業の事例を紹介いただきました。



同NPOのビジョンは、「安心安全な住まいを起点に、だれもが自分らしく生きられる社会の実現」。ミッションは、「住まいに困窮する人たちに、低価格で気持ちのよい（アフォードブル）住宅と社会とのつながりを届ける」です。行政サービスや制度支援が住所に紐づけられた住所主義の日本では、離婚などで母子の住所が無くなると住まいの不安定性から、機会（社会資本など）へのアクセス制限が起き、生活の質の低下、コミュニティの希薄化、社会的孤立に直面します。

同NPOと不動産会社、りそなホールディングスが連携した「アフォードブルハウジングファンド」による支援資金の調達など、「母子の尊厳を取りもどす」低価格で気持ちのよい住宅と社会とのつながりを届ける、ビジカル事例が紹介されました。スピーチの後は、和気あいあいにパーティータイムを楽しみました。

(記：江口 敬一)



◆中部支部役員会報告

開催日：2025年11月15日(土) 会 場：タワーラウンジ・カシメ(名古屋TV塔3階)

日本経営士会中部支部理念

「私たちは、すべての人々と共に成長し、社会に価値を創造します」

私たちは、中小企業の健全な発展のお手伝いを通し、すべての人々と成長を共にし、より良き地域、環境、社会づくりに資する価値の創造を使命としています。

この理念を全うするため、中小企業の持続的な成長に貢献できる、経営コンサルタントの育成と中小企業経営者皆さまの経営判断に役立つ視点・視座の提供、社会課題の解決につながる事業創出の場づくりに努めてまいります。

一般社団法人日本経営士会中部支部

11月度の支部役員会にて、上記「日本経営士会中部支部理念」が承認されました。この支部理念は、支部研究会参加メンバーはじめ多くの支部会員が関わり、1年以上の議論を重ね策定されたものです。理念策定にあたり基本方針は次の2点としました。

1. 中部支部としてのありたい姿、あるべき姿のビジョンを明確にしたうえで、理念形成に臨む。
2. 理念の定義は、「普遍的使命、存在理由かつ最低限の行動規範」とする。

ビジョンは、中部支部が「学びの場」「人脈の場」「ビジネスの場」となり、中小企業の健全な成長に寄与できる組織となることとしました。今後は、理念に則った支部運営に徹し、ビジョン実現のための目標設定、目標達成のための戦略、活動計画を支部全員で共有し、実行していく所存です。

(記：江口 敬一)

◆産業能率大学・短大合同学習会

開催日：2025年11月22日(土) 会 場：ウインクあいち1309会議室

演 題：「生活と環境負荷+α」

講 師：高山 清次 獣医学博士 自由が丘産能短期大学 産業能率大学講師

コメンテーター：平野 宏司 環境経営士 平野学園理事長・学校長

主 催：自由が丘産能短期大学通教校友会中京支部

協 力：産業能率大学通教校友会愛知支部・日本経営士会中部支部



上記学習会のコメンテーターを中部支部の平野宏司会員が務め、支部会員も多数参加させていただきました。講演で環境論の知見を深め、交流会でも産能校友会、経営士会会員同士の親交を深めることができました。平野会員の環境経営大学院大学設置認可に向けての熱い思いも、参加者全員で共有しました。

(記：江口 敬一)

- 開催日時：令和7年11月13日(木) 20:00~21:35
- テーマ：経営課題を解決するために
～サステナブル(≒リスクマネジメント)とは～
- 講師：戸田 裕之氏(経営士会 東京支部 支部長)
司会進行：浅井 純(近畿支部)

1. 開催概要

近畿支部では定期的にオンライン交流会を開催しておりますが、今回はその枠組みを拡大し、全国の会員の皆様にも参加を募って交流会を実施いたしました。結果、20名以上の方々にご参加いただき、活発な交流が行われました。

テーマは企業経営における「サステナブル(≒リスクマネジメント)」の重要性について。BCP(事業継続計画)、情報セキュリティ、人的資本経営、SDGsなどを横断的に理解するとともに、実務に活かせる具体事例を共有することを目的としました。

2. 講演プログラム(前半)

冒頭、近畿支部の國廣支部長の挨拶から始まり、東京支部の戸田支部長による講演が開始されました。

導入部では近年の企業不祥事を題材に、リスクマネジメント不足が招く重大な影響について触れられました。続いて、サステナブル概念の変遷を1970年代の公害・環境問題から始まり、CSR、CSV、ESG投資、SDGs、Well-beingなどへと至る半世紀の流れとして整理されました。

BCPについては、中小企業では「事業継続計画」より「防災計画」として捉えられる傾向があり、導入に消極的な実情が示されました。問題の核心は、予見可能なリスクに対して手段を講じないままであることにありと総括されました。

3. グループディスカッション

途中、参加者を4グループに分け、「身近なリスク」をテーマに20分間のディスカッションを実施しました。近畿支部会員がファシリテーターを務め、各グループで多様なリスクに関する意見が交わされました。

共通して人的資本経営に関わる視点が多く見られたことが印象的でした。

4. 講演プログラム(後半)

プログラム後半では、サステナブル経営の具体事例が紹介されました。

観光業界における従業員教育を通じたサービス品質維持とリスク低減への取り組み。

製造業における事業継続力強化計画の認定事例及び認定取得による実務的効果、さらに戸田支部長が深く関与されたNPO法人による「エコキャップ運動」のスキームなど、実践的な取り組みが示されました。

質疑応答の後には岩井副会長より総評をいただき、予定時間を若干超過して閉会となりました。

5. 参加者アンケート(一部抜粋)

- ・非常に幅広いリスクの定義の仕方や、企業体によっても対処法が異なること、また想定できないリスクが非常に多くなっていることを学んだ。また参加された多様な皆さんそれぞれの考え方も非常に参考になりました。



(講師プロフィール)



(岩井副会長による総評の様子)

- ・ 目先の利益だけでなくリスクの未然防止を行うことで企業の信用、ブランド確立に繋がる！ことを改めて認識。
- ・ 医療安全管理の研修を定期的に受講するように、企業も定期的にリスク管理を学ぶ必要があると感じた。
- ・ 何をするにしてもリスクマネジメント。
- ・ 支部間の交流の大切さ。

6. 謝辞及び所感

最後に、講師としてご登壇いただいた東京支部 支部長の戸田 裕之様に深く感謝申し上げます。

今回のご講演を通じて、参加者は「サステナブル経営は単なる環境対応ではなく、リスクマネジメントと事業継続力の強化であること」「BCPや情報セキュリティ対策は企業価値向上と社会的信頼の基盤であること」「地政学リスクやAIの台頭など外部環境の変化に対応する柔軟な戦略が不可欠であること」「SDGs・CSR・人的資本経営を組み合わせた総合的な取り組みが求められること」といったキーメッセージを理解し、共有できたのではないのでしょうか。また、通常の支部会員のみで行う交流会とは趣を異にし、今回は支部を越えたつながりが生まれ、随所に笑顔が溢れる新鮮なひとときとなりました。オンラインという環境ではありましたが、参加者一人ひとりが心を通わせ、新しい出会いや気づきを共に創り出す場となったのであれば幸いです。

今回築かれたご縁をさらに広げ、次回の交流の機会にて再び皆さまとお会いできることを心より楽しみにしております。

(記 近畿支部 浅井 純)

<今後の予定>

◆令和8年 新春セミナー ～社会課題解決に取り組む経営者に学ぶ～

演題：『人がまちを育み、まちが人を育む』

講師：株式会社ODAT

代表取締役 小田 哲也氏

取締役 小田 さくら氏

日時：令和8年1月31日(土)

14:00～16:30 (13:30～受付開始)

場所：エル・大阪 9012号室

(大阪市中央区北浜東3-14)

プログラム

1部：ご講演

2部：トークセッション

「地域を動かすリーダーの挑戦」

登壇者と参加者代表との意見交換

懇親会 17:00～19:00

会費：セミナー：無料 懇親会：3,000円(会員)

お申込み方法：

QRコードからまたは、近畿支部 事務局

(keieishi.kink1@gmail.com)へ、お申込ください

◆第4回オンライン交流会

日時：令和8年2月19日(木) 20:00～21:00

◆公開MPP

日時：令和8年3月20日(祝金)

午前の部：9:30～12:30、午後の部：13:30～16:30

場所：エル・大阪 501号室(大阪市中央区北浜東3-14)

※イベントに関するお問い合わせ先：keieishi.kink1@gmail.com (近畿支部 事務局)

一般社団法人 日本経営士会 近畿支部 令和8年 新春セミナー

～社会課題解決に取り組む経営者に学ぶ～

人がまちを育み、まちが人を育む

人口減少、少子高齢化が進む地方都市では、空き家の増加、地域活動の担い手不足など課題が山積です。神戸市須磨区で行政や企業・団体、教育機関など多方面の方と共創し、課題解決の取組を実践されている小田氏をお迎えし、ご講演をいただきます。ご一緒に、社会課題解決の取組について考えましょう。

日時 令和8年 1 月 31 日【土】 14:00～16:30 (13:30～受付開始)

会場 エル・おおさか 9012号室 会費 セミナー：無料
懇親会：5,000円(会員:3,000円)
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14 (Osaka Metro谷町線・京阪天満橋駅より徒歩5分)
(当日会場にてお支払ください)

講師

株式会社 ODAT 代表取締役
小田 哲也 氏
元お笑い芸人、阪神大震災を機に救済事業へ。28歳で独立後、現在丹波で救済活動を継続。2019年に株式会社を設立、「陽ででん」のBCPサイトも運営中。日本酒好き酒師、DJでも。2022年アジアパシフィック 全国お取り寄せおでん 1位獲得

株式会社 ODAT 取締役
小田 さくら 氏
大学在学中で放課後メーカに勤務後、出産を機に「子育て中の女性の働き方」を支援するソーシャルビジネスに参画。2022年、株式会社とソーシャルセクターを融合させた「社会課題のソリューション」を立ち上げ、「つながりをつなぐ」場所として、行政・企業・教育機関を巻き込んだコミュニティの形成や地域の担い手の育成に注力。2023年BERKOREイノベーションコンテスト「神戸市投資」受賞。

プログラム

1部：ご講演
株式会社 ODAT 代表取締役 小田 哲也氏
取締役 小田 さくら氏

2部：トークセッション
「地域を動かすリーダーの挑戦」
登壇者と参加者代表との意見交換

懇親会 (17:00～19:00)

主催：一般社団法人 日本経営士会 近畿支部
照会先：keieishi.kink1@gmail.com (一般社団法人 日本経営士会 近畿支部 事務局)

申込みフォーム

https://forms.gle/6JHfLcsmcUQ5R8
～締切～ 1月23日(金)

ビジネスチャンス 発掘フェア2025

マイドームおおさか 2階・3階展示場
11/26水・27木
 10:00~17:00 10:00~16:00

一昨年、去年と続き3回目の出展となったビジネスチャンス発掘フェア。

今年も一般社団法人 日本経営士会—近畿支部—として参加しました。

去年参加頂いたメンバーもいれば、新しく会員になった方にもお手伝い頂き、たくさんのお客様とお話することができました。

新しいお客様とお話することもありがたいのですが、今年の出展には、本部から副会長、専務をはじめ、法人事業部、東京支部、さらには近畿支部の中でも久々に顔を出して頂いた方など様々な方々のご協力を頂きました。2日間で累計12名の会員で、お客様の対応をしました。

本当にありがとうございました。

“近畿支部だけでは出せない色”が出ていい刺激に繋がりました。

このような展示会となると、もちろん“外”への発信がメインとなるのですが、それこそが“内”への発信にもつながり、そこから「新たな交流」・「久々の交流」に繋がっていくいい機会にもなるのだと改めて感じる事ができた一面もあり、去年とは異なった結果が生み出せたことができました。

近畿支部としてこれからも交流を絶やさず、このようなイベントを行い世代間の超えた交流が常に行えるようにこれからも様々な仕掛けを行っていきますので皆様も是非近畿支で行う行事にお越しください。

よろしくお願いいたします。



(記 近畿支部 中里 皓一)

中国支部

オンラインで少人数制。グループワークを中心にシートを記入していき、フィードバックにより計画を固めていきます。最終日は全員が経営計画を発表！と、言うことで、この度の試みを、今後発展的に継続実施していく予定です。来年度の更なる進化と発展に期待！！

女性活躍推進チームでChatGPT研修

11月10日(月)オンラインにて研修会を行いました。

この度の特徴は、会員の荒木里奈さんから「こんな研修どうでしょうか」と提案いただいた事にあります。直接のお声、嬉しい限りです。

「経営者のためのChatGPT活用勉強会」は、オンデマンド参加も含めると15名の方にご参加いただきました。初心者の方でも実践しやすいよう、基本設定からプロンプト作成のコツ、情報整理やグラフ化の手法までの幅広い解説でした。

質疑応答の時間を十分に確保したことで、日常業務での具体的な疑問や活用場面についても深く掘り下げることができました。

参加者からは「すごく勉強になった」「ありがたい時間だった」といったお声をいただき、経営者の皆さまにとってAI活用の第一歩を踏み出す有意義な機会となったことはもちろん、私自身にとっても大変貴重な経験となりました。

(著：荒木・石井)



インフォメーション

行事・講座・セミナーのご案内

行事・研修・セミナー	日 時	開催場所	詳 細	申込方法等
第64期経営士養成講座	1月17日(土) 土曜を中心に10回	本部会議室 (ZOOM配信)	受講料 220,000円	—
第91回環境経営士養成講座 (ベーシック)	1月17日(土) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 15,000円	—
第91回環境経営士養成講座 (アドバンスト)	1月24日(土)・25日(日) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
第92回環境経営士養成講座 (ベーシック)	3月14日(土) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 15,000円	—
第92回環境経営士養成講座 (アドバンスト)	3月21日(土)・22日(日) 10:00~17:30	ZOOM配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
環境経営士養成講座 ベーシック(中部支部)	2月7日(土)	名古屋テレビ塔 タワーラウンジ ・カシメ	受講料 15,000円	—
環境経営士養成講座 アドバンスト(中部支部)	2月14日(土)・15日(日)	名古屋テレビ塔 タワーラウンジ ・カシメ	受講料 30,000円	—
MPP (東北支部)	1月24日(土)	仙台協立ビル	参加費 1,500~2,000円	—
MPP (茨城県会)	2月21日(土)	ひたちなか 商工会議所	—	—
新春セミナー (東京支部)	1月28日(土)	ZOOM配信	—	—
新春セミナー (近畿支部)	1月31日(土) 14:00~16:00	エル・大阪	—	懇親会あり
MPP (近畿支部)	3月20日(祝金)	エル・大阪	—	—

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。
* 鈴木 佳久 (会員NO.3298 東北支部)
(享年73歳)

Management

経営に知恵と革新

Intelligence and Innovation in Management

Consultant